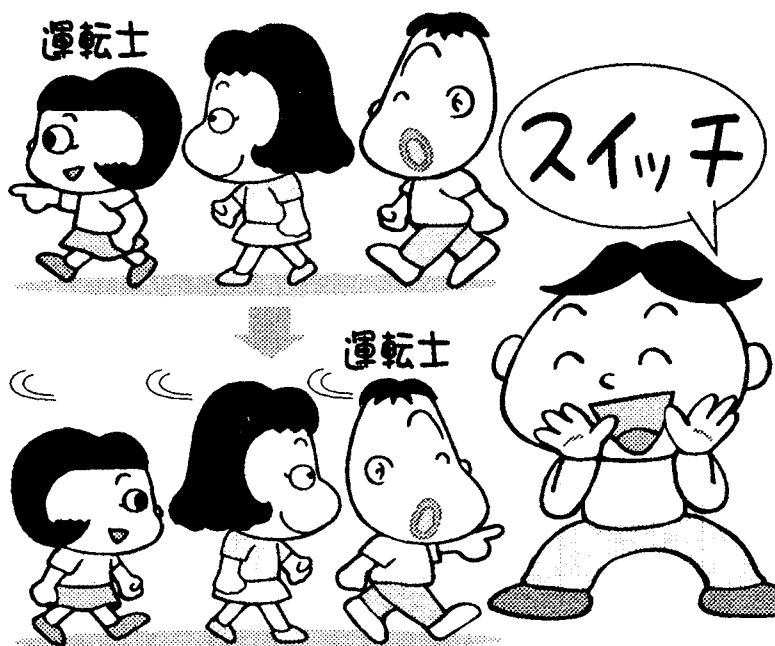


あそびのレシピ



線路は続くよ、慌てずに

乗り換え列車

遊びの中には「いす取りゲーム」のように、一つ足りないものや一つ余りなものがあります。この手の遊びでは、運がいい人、要領がいい人がうまく立ち回りますよ。

慌てることなく、ゆっくり探してみよう。少ない場所を争って取り合うのではなく、全員が居場所を見つけたことに安心感を見いだすようなゲームです。十分程度、歩き、歌い続けながら楽しみましょう。

【人数】 30人以上

【場所】 全員が自由に動ける広い場所

【道具】 なし

【遊び方】 ①3人1組になる（人数の関係で4人組があっても可）。

②3人で縦一列に並ぶ。先頭は運転士、真ん中が乗客、最後尾は車掌。3人とは別に号令をかけるリーダーも決める。

③「線路は続くよ…」と歌いながら会場内を自由に3人で行進する。

④しばらく自由に行進したらリーダーが「スイッチ」と号令を出す。すると3人は回れ右。車掌と運転士が入れ替わって再び行進する。

⑤しばらくしたら今度は「交代」の号令。運転士が最後尾に移動し、それまで乗客だった人が運転士、車掌だった人が乗客になって再び行進を始める。

⑥さらにリーダーが「乗り換え」の号令をかければ、乗客は乗っていた列車を離れて別の空いている列車に乗り換える。新しい客を乗せた列車は再出発。必ず乗り換えはできるし、乗客もちゃんといます。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363